

郷土づくり推進会議

鵜沼地区郷土づくり推進会議は、地域の意見や課題を集約・把握し、課題解決に向けた方向性の検討を行うとともに、伝統文化、景観、自然環境などの地域資源を活用して、地域の活性化や魅力を高める取り組みを行うため、設置されております。

委員は、鵜沼地区の地域団体()からの推薦及び公募により構成し、それぞれ各地域団体と連携協働し、地域の課題解決に向けた活動を行っています。

町内会自治会連合会、社会福祉協議会、防犯協会、交通安全対策協議会、民生委員児童委員協議会、生活環境協議会、青少年育成協力会、鵜沼ふれあいトライアングル、老人クラブ連合会、鵜沼海岸商店街振興組合、交通安全母の会、鵜沼地区ボランティアセンター「ささえ」

☆☆鵜沼地区郷土づくり推進会議が取り組む三大テーマ☆☆

気づき

認知症サポート

おせっかいネットワーク
高齢化社会が進む中、地域の中でも認知症の方が安心して暮らせる地域づくりが求められています。孤独がちとなる単身高齢者や、制度のはざままで生活の苦労がある方などを支援していくネットワークを構築します。

見守り

こども110番

見守りネットワーク

こどもの登下校時の見守りには、町内会自治会連合会、防犯協会、交通安全対策協議会、交通安全母の会、青少年育成協力会、各校PTAなど多くの地域団体や、おはようボランティアなどが活動を行っています。「こども110番」を見直し、活用を図ることにより、見守りネットワークを構築します。

つながり

地域の交流ステーション

児童の放課後の居場所づくりや、高齢者の自立支援・生きがいづくり、さらには、乳幼児から高齢者まで、さまざまな世代が気軽に交流できる場所づくりを進めるとともに、地域のボランティア活動を推進し、だれもが自由に利用できる常設のステーションの設置を検討します。

鵜沼地区郷土づくり推進会議の活動について

超高齢化社会が目前に迫り、少子化もますます進む中、私たち市民は、どのように行動すべきでしょうか。

だれもが安心して、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域の中では、日ごろから顔の見える関係づくりに努め、多くの人々が積極的にボランティア活動や地域の行事に参加し、地域住民同士で互いに助けあい、支えあうことができる、社会のしくみづくりが必要ではないでしょうか。

鵜沼地区郷土づくり推進会議では、このしくみづくりのため、これからも様々な企画・立案を行ってまいりますので、今後とも地域の皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。



鵜沼地区郷土づくり推進会議
議長 長瀬 輝行

気づき

認知症サポート おせっかいネットワーク

65歳以上の4人に1人が認知症またはその予備群といわれており、鶴沼地区の人口で計算すると、約3,500人もの方が該当することになります。超高齢化社会が進む今、認知症はますます深刻な問題となっています。

認知症を正しく理解し、認知症の人が本当に必要としているサポート(支援)に気づくことができれば、もっとみんなが安心して暮らせるまちになるのではないのでしょうか。

認知症サポート・おせっかいネットワーク委員会では、「気づき」をテーマに、『認知症サポーター2000人』を目標に取り組んでいます。

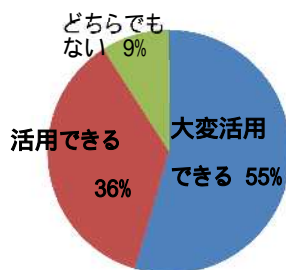
目標：認知症サポーター2,000人

鶴沼地区内の認知症サポーター(=講座を受講し、認知症の人やその家族を応援する人)を、世帯数の約10%にあたる2,000人を目標に、各地域団体や関係機関等と協力して「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

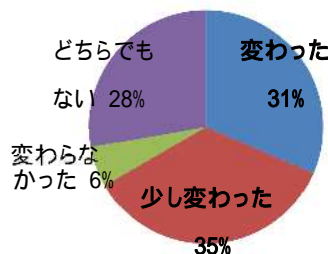
受講者のアンケート結果より

7/9 鶴沼地区社会福祉協議会主催の講座

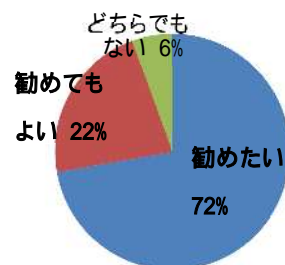
Q,実際に認知症の方に対応する場面で役立ちそうですか?



Q.この講座に参加して、あなたの認知症に対する考え方は変わりましたか?



Q,自分の町内で講座が開催されたら、まわりの人に受講を進めますか?



**認知症
対策講座**

「認知症を支える地域のあい方」 ～大牟田市の取り組みから学ぶ～

2016年(平成28年) 3月13日(日)

10:00～12:00 鶴沼市民センターホール

講師 医療法人静光園 白川病院 医療連携室長
大牟田市 認知症ライフサポート研究会
猿渡進平氏

内容 認知症対策の先進地域として知られる福岡県大牟田市のこれまでの取り組みと、現状などについて。

お問い合わせは、鶴沼市民センター・地域担当(33-2001)まで!

**入場無料
予約不要**

こども 110 番 見守りネットワーク

見守り



こども110番は、地域の子どもたちを犯罪から守るための緊急一時避難場所および警察などへの通報場所として、ご協力いただける方に看板の設置等をお願いしています。

この取組みを、より効果的に継続・発展させ、子どもたちの安全・安心を見守る地域の新しいネットワークづくりが必要です。

こども110番 見守りネットワーク委員会では、「見守り」をテーマに、『こども110番』のあり方を見直し、地域内でのネットワークの強化や意識の高揚を目標に取り組んでいます。

鵜沼地区内の設置(分布)状況把握

各町内会・自治会にご協力いただき、鵜沼地区内における「こども110番」(看板)の設置状況を調査しました。その結果をもとに、地区内での分布()、看板の劣化、登録数と現況の差などを確認するほか、おはようボランティアや防犯カメラの位置などについても調査し、運用上の問題点や、今後の「こども110番」のあり方を見直す検討材料とします。

「こども110番」(看板)の地区内での分布

看板の現況分布図を作成することにより、設置過剰・希薄地域を把握し、特に通学路や子どもの集まる場所(公園等)周辺での適切な設置について検討します。

第7回鵜まつりを開催しました

2015年(平成27年)4月25日(土)に、鵜沼運動公園(八部公園)芝生広場において、第7回鵜(くぐい)まつりを開催しました。

当日は、芝生広場に地場野菜や海産物、鵜沼魚醤料理などの物販・飲食店やフリーマーケットの出店、ステージでの地元サークル団体の出演などがあり、また、さわやかな晴天にも恵まれ、1万人を超える来場者がありました。



今年(第8回)は、4月23日(土)に開催を予定しております。

皆様のご来場をお待ちしております。



つながり

地域の交流 ステーション

近年、少子高齢化がますます進み、私たちが暮らす地域の中では、人と人とのつながりが希薄化する傾向にあります。

赤ちゃんからお年寄りまで、多世代間の交流を進めるためには、それをつなぐための場所づくりや、地域ボランティアの活動が大切です。

地域の交流ステーション委員会では、「つながり」をテーマに、ボランティアの方々の協力を得て、赤ちゃんとお母さん・お父さんが集まるところ、子ども達の放課後の居場所、高齢者のふれあいの場など、みんなが集えるステーションづくりを目標に取り組んでいます。

子ども達の放課後の居場所づくり

小学校3～6年生の放課後の居場所づくりとして、ボランティアスタッフとのさまざまな学習や体験等を通じ、子ども達の豊かな人間性を育みます。

内容：宿題(学習)の時間、ボランティアスタッフと学習ゲーム等、野外活動。

会費：無料 イベント時は、実費の一部をいただくことがあります。

鵜沼元気塾

毎週木曜日午後4時～5時半に、鵜沼市民センターで実施しています。

平成27年度の主なイベント(予定含む)

- ・5/28 ゴーヤとヒマワリの苗植え
- ・7/30 高齢者との交流会
- ・8/27 夏のデイトリップ(行先：少年の森と湘南台文化センター)
- ・10/15 芋ほり
- ・12/17 クリスマス会
- ・3/17 六年生を送る会



●鵜沼元気ひろば【2016年(平成28年)4月18日スタート!!】

毎週月曜日午後4時～5時半に、仲東町内会館(本鵜沼2丁目)で実施します。
見学・体験なども、随時受付いたします。

ボランティアさん大募集!!

「鵜沼元気塾」「鵜沼元気ひろば」をお手伝いいただけるボランティアさんを募集しています。

未来を担う子どもたちを、地域の力で育てましょう！ ぜひご連絡ください。

お問い合わせ・お申し込みは、鵜沼市民センター地域担当まで。

鵜沼地区郷土づくり推進会議／事務局 鵜沼市民センター地域担当(平日 8:30～17:00)

電話 0466-33-2001 FAX0466-33-2203 E-mail:kuge-k@city.fujisawa.kanagawa.jp

鵜沼地区ポータルサイト <http://fujisawa-kugenuma.ecom-plat.jp/>